

自己評価集計結果を見せていただいた。

全体として「◎十分理解できている（十分できている）」が 20.8%、「○理解している（できている）」が 66.8%、ふたつを合わせると 87.6%。園の在り方も自分自身の働き方も、頑張っているし、おおむね満足しているということであろう。素晴らしいことだと思う。

特に「健康及び安全」の項目の点が高い。コロナやインフルエンザなど感染症が流行る中、園児の健康には特に気を配り、大きなケガがないように安全には十分注意を払って、日々保育をしておられるということだろう。保育形態が変わった直後は大きなケガが多かったが、最近はめっきりケガが少なくなったと聞いている。子ども達が自分で考えて遊ぶことに慣れてきたからケガが減ったのが大きいと思われるが、それを支えているのが先生たちの努力ということであろう。

次に得点が高いのは「子育ての支援」の項目である。保護者へ毎日声をかけ、クラスだよりなどのお手紙を出し、細やかな心配りをしておられるのが、職員室での電話の対応を聞いていても感じられる。今は保育アドバイザーの庄籠が作成したドキュメンテーションを配布しておられるようだが、先生方のドキュメンテーションを作る腕がどんどん上がってきている。早く、先生方が作ったドキュメンテーションを保護者に配布し、保育の中で子ども達にどんな学びが起こっているか・その中で先生たちはどんなことを感じ考えているかなど保育の意義や大切さを、ぜひ伝えていって欲しい。

さて、「×努力が必要」の項目に 14 個チェックが入っている。どういう項目か見てみると、「指導計画」など「計画を立てているか」や「小学校との円滑な接続のため、小学校の児童と交流が図れているか」などである。今日の保育を明日の保育につなげるための計画、今年の保育を次年度の保育に活かしていく計画、特別な支援の必要な子への個別の支援計画など、計画面への充実が図られる必要があるだろう。コロナも次第に落ち着いてきているので、小学校の児童や先生方との交流も計画されたい。

園独自の取り組みとして、他の園にはない自園の特徴をつかみ、意識してそこをもっと伸ばそうとする努力も続けて欲しい。

保育アドバイザー 庄籠道子